

幸福を、平和を、豊かな心を、カンボジアの友と分かち合おう

Angkor Wat

アンコールワット

発行日:2023年(令和5年)4月1日

会報 第128号

特定非営利活動法人(NPO法人)

21世紀のカンボジアを支援する会

《AAC21》ASSOCIATION OF AID FOR CAMBODIA IN 21 CENTURY

【東京本部】〒176-0011 東京都練馬区豊玉上2-25-7-203
TEL:03-3991-2854 FAX:03-3557-1213
E-mail:info@aac21.net【カンボジア事務所】Royal park condo, Street 608, Toul kok,
Phnompenh, Cambodia
(855) 17-599-707【ホームページ】[カンボジア支援](#) [検索](#)【公式ブログ】[メコンの風に吹かれて](#) [検索](#)

日本とASEANの良好な関係を育むには

NPO法人 21世紀のカンボジアを支援する会 理事長 根岸恒次

ご覧になられた方が多いと思いますが、昨年末「ラゲリより愛を込めて」を観ました。「シベリア抑留」がテーマの、とても感動的な映画でした。

終戦を迎えたはずなのに、理不尽にも旧満州などに連行され、強制労働を強いられた挙句、その1割に当たる6万人が命を落としたりとされています。その多くが2〜3年で帰還しましたが、中には戦犯として最長12年間も抑留された日本兵もおりました。明らかな国際法違反です。

ところが変わり東南アジア諸国では、旧日本軍が敵国の捕虜を虐待したり、住民を巻き添えにして多くの方々に甚大な迷惑をおかけしました。今は親日的なタイでも、西部カンチャナブリでは、旧日本軍による「泰緬鉄道」の建設で多数の捕虜や現地民が犠牲になり、私も2008年頃、その現場を訪れたことがあります。

それでも終戦後は、事実上戦後賠償の意味合いも

伴って始まった政府開発援助(ODA)や、私たち民間NGOの活躍もあって謙虚に各国の国づくりに貢献したことで、大半のアジア諸国が親日国になり、良好な関係を維持しております。

ところが昨年末、日本が防衛力強化に向けた「安保3文書」を策定した時、ASEAN(東南アジア諸国連合)各国の反応は必ずしも好意的ではなく、かつて東南アジアを席捲した軍国主義復活か?との警戒感をあらわにした国もあったようです。

日本とASEANは今年、友好協力50年を迎えます。日本はG7のアジア代表として、権威主義国家と対峙しておりますが、ASEANは必ずしもG7に好意的ではない国も見られ、一枚岩ではありません。カンボジアもそのひとつであり、中国、ロシア、北朝鮮とは伝統的に友好関係を維持しております。アジア諸国を侵略した過去の苦い経験を顧みつつ、ASEANとの良好な関係をどう育むのか、大きな課題と思います。

情勢が変化しても子どもたちへの支援&交流は続けます



建設中だった小学校校舎がついに完成!!

「札幌ボブラライオンズクラブ」(事務局=札幌市中央区・石黒義久会長)の創立60周年記念事業として、同団体が資金提供してカンボジアに建設中だった小学校の校舎がこの程完成、贈呈式を待つばかりになった。

校舎が完成したのは「トロペアントレアン小学校」(クラチェ県・チェットボレイ郡・トロペアントレアン村、生徒数=は250人)。

校舎は平屋建て、レンガ造りの3教室で、直ぐに授業ができるよう生徒が座る椅子、黒板などが搬入された。

既に授業が始まり、生徒たちの明るく元気な掛け声が教室内に響き渡っていた。



完成した校舎



喜ぶ生徒たち

カンボジアの小学校に井戸が完成

この程カンボジアの小学校に、大型手押しポンプ式井戸1基が完成した。完成したのは、「田之筋地域づくり協議会」及び「田之筋小学校」(愛媛県西予市の皆さんが寄贈してくれた「ワットマリール小学校」(コンボンスプー県ポーセット郡、生徒数=447人)。



田之筋地域づくり協議会寄贈の井戸

1月25日、現地スタッフが小学校を訪問、井戸の完成を見届け性能点検した上で贈呈式を行い、完成を祝った。

井戸の深さは平均して約40メートル、ヒ素などの水質検査を実施しているの、生徒や村民には安心・安全な井戸水を提供している。

オンライン情報交換会を毎月開催

本会では、カンボジア在住の日本人や現地スタッフの協力のもと、現地情報をオンライン(Zoom)で紹介する「カンボジア情報交換会」を、原則毎月第1又は第2土曜日の10時~11時半に開催している。1月は14日、2月は18日に開催した。

4月は役員がカンボジアに渡航する関係で遅くなるが、22日(土)に開催予定。参加・退出は自由なので、都合良い時間帯にご参加を。(参加希望者にはZoomのIDとパスコードを事前に送ります)



オンライン情報交換会

カンボジアの子どもたちをサポートしてください

クメール教育里親会員募集

長かった内戦が終わって平和になったカンボジアですが、国の復興はなかなか進まず、多くの人は貧困に苦しんでいます。特に農村では、貧しかったり親を亡くしたりして学校へすら行けない子どもや、学校へ行けても途中でやめしてしまう子どもが後を断ちません。

本会では、農村の子どもたちが学校へ行けるようにと、教育資金をサポートしてくれる里親さんを募集しております。

例えば78年前、敗戦して焦土となった日本を救ってくれたのは、諸外国からの援助でした。カンボジアも食料援助をしてくれました。日本の子どもたちもその恩恵を受け学校に行けるようになりました。豊かになった私たちが、今度は困っているアジアの子どもたちを支援する番です。

※お友達グループや職場など、グループ単位でサポートしていただくこともできます。

里親さんありがとう



【教育里親会費】子ども1人につき1年間3万円。

(活動のための諸費用含む)

- ・子どもへの直接支援額を高めるよう努力しております。
- ・一括納入、分割納入(毎月、年2回)のどちらでも可。
- ・所定の郵便振替用紙を使いお振込みください。

【支援する期間】・少なくとも子どもが学校を卒業するまでの間、支援して頂けたら幸いです。やむを得ず子どもが中退する場合もありますが、その際は別な子どもの支援をお願い申し上げます。

【子どもとの交流】・子どもからは概ね6ヶ月に1度、近況を報告する手紙(日本語に翻訳)と写真が届きます。

- ・里親から手紙、プレゼントを届けることができます。
- ・(子どもから写真とお礼の手紙が届きます)

教育支援をお願いします!

「クメール教育里親基金」では、教育支援を希望するカンボジアの子どもたちを、会報紙面で紹介いたします。支援して下さる方は、子どもの名前を添えて、事務局までご一報ください。

(先に里親が確定する場合がありますので、ご承知ください)

また、既に里子をお持ちの方も歓迎いたします。顔の見えるマン・ツー・マンの教育支援です。

☎03・3991・2854 FAX 03・3557・1213

「ボレイレストラン」が繁盛

前号で報告したが、本会の現地スタッフとして約10年間勤めてくれたヴォン・ロットボレイさんが、昨年末に退職した。

ロットボレイさんは数年前より、現地スタッフとして勤務する傍ら夢ホームの前でレストランを開業、そちらの仕事が多忙になったため現地スタッフとの兼業が困難になり、レストランの経営に専念することになった。

このレストランでは、旧夢ホームに入居していた子どもたち(2名)が住み込みで働いていて、ボレイさんが生活の世話をしてくれている。

現地スタッフは退職したが、会が忙しい時は臨時にお手伝いしてくれるにしている。



厨房で料理するボレイさん

ポム・ウドム君
(男の子)リヤサマイサマキー小学校
(コンボンスプー県)
2年生(10歳)

- 家族構成＝両親離婚し家を出る。兄1人、弟2人いる。現在叔父、兄弟と暮らす。
- 好きなこと＝自転車に乗ること。
- 学校まで徒歩で30分。

カット・プリンアップ君
(男の子)リヤサマイサマキー小学校
(コンボンスプー県)
1年生(7歳)

- 家族構成＝両親離婚し家を出る。弟1人いる。現在祖母、弟と暮らす。
- 好きなこと＝絵を描くこと。
- 学校まで徒歩で20分。

コム・ロサーちゃん
(女の子)リヤサマイサマキー小学校
(コンボンスプー県)
6年生(12歳)

- 家族構成＝両親離婚、母親のみ。弟1人いる。現在祖母、弟と暮らす。
- 好きなこと＝本を読むこと。
- 学校まで徒歩で25分。

ホオン・ダヴィーちゃん
(女の子)リヤサマイサマキー小学校
(コンボンスプー県)
2年生(9歳)

- 家族構成＝両親離婚し家を出る。姉1人、弟2人いる。現在祖母、姉、弟と暮らす。
- 好きなこと＝縄跳びをすること。
- 学校まで徒歩で25分。

ヴォアン・スレイレンちゃん
(女の子)スロン小学校(コンボンスプー県)
3年生(10歳)

- 家族構成＝両親離婚母親のみ。姉1人、兄1人、弟2人いる。現在母親、姉、兄、弟と暮らす。
- 好きなこと＝本を読むこと。
- 学校まで徒歩で20分。

根谷崎百合子さんが来局

12月19日、神奈川県在住の里親会員、根谷崎百合子さんが本会事務局を訪れてくれた。

根谷崎さんは、20年間にわたり本会を支援してくれているものの、まだ一度もお会いすることがなかったが、この程機会あり娘さんと一緒に、事務局に立ち寄ってくれた。

根谷崎さんは2人の里子を教育支援するほか、カンボジアの小学校に今まで15基の井戸とトレイを1棟、夢ホームのために必要な備品類を毎年寄贈してくれた。改めて感謝申し上げたい。



根谷崎百合子さん

三木浄万さんが里子訪問

東南アジア歴訪中の三木浄万さん(兵庫県在住の里親会員)がカンボジアに立ち寄り、1月10日に里子訪問してくれた。現地スタッフが案内した。

三木さんは、お父様の三木慈造さん(故人)の後を受けて教育里親になってくれた。コロナ前に一度訪問、今回二度目の訪問になった。里子は中学生になり、高校目指して勉強中。



三木浄万さん

中国からの団体ツアーが解禁

中国政府は2月6日からカンボジアを含む20カ国を対象に、海外への団体旅行を解禁すると発表した。カンボジア政府の観光大臣も、2023年に予想される外国人観光客350万人、400万人のうち、100万人程度が中国人になると明らかにした。カンボジア政府観光省によれば、2022年の観光客227万人のうち、中国人観光客はわずかに10万6875人だった。(写真出典：ポステカカンボジア)



団体ツアー解禁

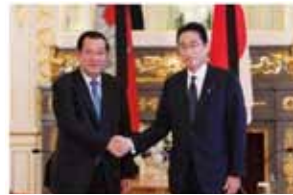
南野陽子さんがカンボジア国交樹立70周年の親善大使に就任



南野陽子さん

歌手で女優の南野陽子さんが1月18日、日本とカンボジアの外交関係樹立70周年記念事業に協力する親善大使に任命された。林芳正外務大臣が外務省で、委嘱状を南野さんへ授与した。南野さんは1989年にテレビ番組でカンボジアを初めて訪れ、2022年にはカンボジアへの思い出を綴った新曲「明日への虹」を発表した。(写真出典：ポステカカンボジア)

カンボジアと日本の関係は新たな節目に



新たな節目

1月9日に日本とカンボジアは国交関係樹立から70周年を迎え、岸田首相とフンセン首相は双方の代表を通じて祝辞の交換を行った。フンセン首相は日本との一層の協力強化へ期待を示した。昨年は、自衛隊初の国連平和維持活動であったカンボジア派遣から30周年を迎え、両国は安全保障・防衛協力の更なる推進で合意している。(写真出典：ポステカカンボジア)

カンボジアの給水システム設置に日本政府が2640万円を支援

日本政府は草の根・人間の安全保障無償資金協力として、シエムリアップ州での給水システム設置に2640万円の支援を行う契約書に署名した。シエムリアップ州の当該地域には給水施設がないため、多くの住民が安全な飲料水を確保できずにいるが、このプロジェクトで2700人以上が手ごろな価格で安全な飲料水を利用することが可能。(写真出典：ポステカカンボジア)



日本政府支援

カンボジアの衣料品輸出2023年上半期は減少見込み

カンボジア繊維・アパレル・履物・旅行用品協会によると、衣料品と履物の海外受注が回復せず、昨年に続き今後も受注が減少し続ける可能性が高い。需要の低下はロシア・ウクライナ戦争が消費財や履物の価格を押し上げ、いくつかの国で所得が減少したことが原因とのこと。新型コロナウイルスの影響による諸外国の工場停止を受け、一部企業が発注先をカンボジアに切り替えていたが、状況が改善されると再び、諸外国の工場への発注を再開させたことも遠因という。(写真出典：ポステカカンボジア)



衣料品輸出減少

新型コロナウイルス6回目のワクチン接種を計画



6回目ワクチン

フンセン首相は音声メッセージで、カンボジアでは6回目となる新型コロナウイルスのワクチン接種を行い、集団免疫を更に強化する予定であることを発表した。カンボジアには未到着のワクチン2000万回分を除き700万回分の在庫があり、国内に十分なワクチンがあるとして、国民に追加接種を受けるように呼びかけた。(写真出典：ポステカカンボジア)

ポールスミスがフンペン市内のモールに出店



ポールスミス

イギリスを代表するファッションブランド「ポールスミス」が、フンペン市内のモールにオープンした。ポールスミスは1970年に設立されたファッションブランドで、現在世界70の国と地域に展開している。ポールスミスの他同モールには、イタリアのファッションブランドである「モスキーノ」もオープンした。(写真出典：ポステカカンボジア)

里子へのプレゼントは 随時受け付けています

●コロナウイルスの影響で、カンボジアへの渡航回数が少なくなりました。しかし、海外送金は問題なく可能ですので、当面は皆様から送って頂いたプレゼント代金を現地の本会銀行口座に送り、現地スタッフがプレゼントをお届け致します。里子からのお礼状(写真付き)もメールで送ってもらいます。

●事務局に届いた里子プレゼント(品物)につきましては、年2回程度になりますが、空港から持参させて頂きます。暫くお時間を頂きますので、この時期品物を避け、なるべく現金をお送りください。(手紙はメールで、現地に送ります)

現地購入(プレゼント代を振込票にてご送金ください)

・自転車(中古品)	7,500 円
・お米(50キロ入り)	4,500 円
・通学用かばん	3,000 円
・ティシャツ2枚&サンダルセット	2,000 円
・本(絵本2冊・中学生以上は英語辞書1冊)	1,000 円
・お菓子セット(お菓子の詰め合わせ)	1,000 円
・文房具セット(ノート、筆記用具等)	1,000 円

※上記の代金は、現地での物品調達や里子へ届けるための車代等の諸経費として、原価に20%を上乗せしております。

※里親様が現地に行き、里子にプレゼントを直接届ける場合は、原価での購入になります。

里子への教育支援金を 隔月に届けています

本会のカンボジア事務所では現地スタッフが、教育里子が通学する小学校(25校)を隔月に訪問、教育里親様より頂戴した年会費の中から6回に分け、米ドルに換金して教育支援金を届けています。

中学校、高等学校に通う教育里子も出身校の小学校に集まり、支援金を受け取っている。

2月6日～2月11日の間に12月分と1月分を、2人の現地スタッフ(ドライバー含む)が各学校を回り、教育支援金と里親さんからのプレゼントや手紙などを届けた。



教育支援金を届けました



新学期がスタート

本会では、病気や事故、親の離婚などにより両親や片親をなくしたり、親がいても貧しい家庭環境にあるカンボジアの子どもたちが安心して学ぶことができるよう、2003年に「クメール教育里親基金」を創設、現在260人の子どもたちを教育支援している。

カンボジアの公立学校は1月2日に新学期が始まり、里子たちも元気に通学している。コロナによる休校もなく、ほぼ通常に戻っている。オンライン里子訪問を希望される方は事務局に連絡を。

03-3991-2854

クメール教育里親基金活動レポート

投稿 カンボジアの教育制度(1) ～新型コロナウイルスが教育へもたらした影響～

理事・佐々木 英介(東京都在住、里親会員)

カンボジアの教育制度は、基本的には日本と似てはいますが、細かな点でかなりの相違があります。それらの違いも含め、この欄で数回に分けて簡単に説明する予定ですが、その前に今回は、新型コロナウイルスが子供たちに与えた影響についてお知らせします。

新型コロナウイルスの感染の波が2020年初頭よりカンボジアへも波及し、3月16日からは全国の公立・私立教育機関が一斉休校となりました。皆さんの中には里子支援をされている方も多くいらっしゃるでしょうし、きっと支援生徒さんたちの状況も気になっておられたことでしょう。

その後、同年8月から、十分な対策を満たしていると教育省が認めた私立校20校が再開され、9月7日からは、消毒などの感染予防措置、ひと教室ごとの人数制限、週ごとの登校日数の設定、1日あたりの授業時間や授業科目の制限などを行うことを前提に、全国の幼稚園から高校までの学校が順次再開されました。

しかし、その後の度重なる市中感染によって再び学校は閉鎖され、2021年8月までに児童生徒が通学できたのは1～2ヶ月程度でした。

そしてその翌月中旬以降、ワクチン接種や予防対策が評価された中学校以上の学校が順次再開されだし、低年齢層へのワクチン接種が浸透した現在では、ほとんどの学校が形の上では再開しています。

ただし全てが完全な対面式の授業ではなく、家庭学習やオンライン学習などを組み合わせた形での教育学習が行われていた学校もありました。

とは言っても、農村部ではインターネット環境が十分でないことから、不利な状況に置かれている子どもも多くいて、不平等の格差を拡大させていたことも事実です。そして、このこともコロナ下で退学する生徒数を増加させている要因の一つと言えます。

なお、2021年度の卒業試験が例年よりも3ヶ月遅れたことから、翌年度の新学期開始が2021年10月ではなく昨年1月となっています。

この長期間にわたるパンデミックが、日本と同様にカンボジアの生徒たちにも大きな影響を与えていますが、その代わりに通常ではできなかった多くの経験を、子供たちは得ています。

感染はまだ収束していませんが、今後それらがどのように活かされていくのかも、私たちの楽しみの一つとなりそうです。

今回は、カンボジアと日本との教育制度の違いに関して、触れてみることにします。(つづく)

小学校の教室



投稿 カンボジア・ボッカタオの創始者との出会い(2)

副理事長 及川英博(岩手県奥州市在住・里親会員)

かつて東南アジアの盟主として君臨した、アンコール王国の軍隊の強さの源泉でもあった「ボッカタオ」も、クメール王国の衰退とともに風前の灯となった。

ボッカタオが元々戦場での戦闘術であったことや、格闘技を習う層が余裕のある富裕層、知識層であったことから内戦当時は迫害の対象とされ、習っていることが分かると当局に殺害された。

「この国が最も輝いていた時代の歴史を後世に残す義務がある」と、失われつつあった伝統武術の復興を試みたのが、武闘家サン・キムサンである。

キムサンはボル・ポト時代にタイに亡命し、その後アメリカ合衆国でハプキドー(韓国合気道)の師範として暮らしていた。

しかし度重なる内戦で弱体化する母国を見かねて、アメリカで築いた地位も安定も全て捨てて国内情勢が安定した2001年に、母国カンボジアに戻った。そして生き残った師範らを集めて組織を整備し、2005年それまで名前が忘れ去られていたこのカンボジア伝統武術を「ボッカタオ」と名付けたのである。

彼はその過程で一番辛かったことは、度重なる内戦とボル・ポトの虐殺の傷が癒えないカンボジアにとって、「ボッカタオ」を復活させようとする動きは、暗黒時代の歴史を思い出させ再び当局に殺されるかもしれないことを恐れて、「私はボッカタオなんていう格闘技は知りません」と全員に断られたことだそう。

しかし彼の信念は熱く、草の根の活動を続けて、現在ではボッカタオがテレビコマーシャルにもなるほどにポピュラーになっている。

そして遂に、2022年にUNESCOの無形文化遺産に「ボッカタオ」として登録されたのである。(完)



サン・キムサン氏を囲んで

投稿 M君の思い出(8)

今 紀子(東京都在住、会員)

新聞記事の内容は、G神父の足跡をたどっているものだった。カンボジア難民の少年たちの里親を引き受け、それを契機にカンボジアで学校建設を始めた。2016年1月、G神父は建設を終えた小学校を視察のため現地を訪れ、現地スタッフとしてM君も同行したのである。

「M君」と呼んでいいのだろうか。彼はすでに50代。祖国の為に身命を賭して働いている。でも、やっぱりM君と呼ばせてください。新聞の記事によると、M君は妹さんに会えたという。

私は、ふと疑問を感じた。紙面一面を使った内容の濃い記事ではあるが「元少年兵を里子に」という副題がついている。タイトルよりも大きく黒々とした活字で書かれているのである。なぜ!? なぜそこまで彼をムチ打つのか。

G氏の著書の中でM君はこう言っている。「あの三人が生き返ってわたしを殺してくれたら、どんなに楽になれるでしょう」。

忘れてしまいたい過去は、誰にでもある。でもM君は、その忌まわしい過去さえ忘れることが許されない。なぜ!?

G神父は、新聞記事の中でこう述べている。「私は体調がすぐれないので、あとは彼に頼む」。

17歳のM君に約束します。私たちは、カンボジアの子供たちの自立支援に、これからも邁進いたします。

あなたの夢を共に実現させるために。

ごきげんよう! M君。(完)

本会の会員状況をお知らせいたします

(2023年1月末日現在)

●教育里親会員	194名
●個人会員	72名
●団体会員	10団体
●寄付協力者(随時)	62名
合 計	338名

書き損じハガキ・未使用切手

・商品券等をお送りくださいませ

本会では、書き損じハガキ・未使用の切手やビール券やデパートの商品券を集め、活動資金にしております。皆様の家に眠っているものがございましたら、ぜひ、ご協力くださいますよう、よろしくお願い致します。普通郵便で事務局へお送りください。

事務局便り

本会報に毎号投稿してくださっていた中村善信様(ノペン在住)が現地でバイクの交通事故に遭い、大腿骨骨折の重傷を負いました。幸い現地の皆様の協力を頂き、車いすでしたが故郷の佐賀県に帰国、日本の病院に入院することができました。回復をお祈りいたします。

今年の「お年玉募金」ですが、28名の皆様より合計28万6千円のご協力を頂きました。誠にありがとうございます。昨年同様、現地での活動資金の一助とさせていただきます。

カンボジアへの渡航制限も殆どなくなり、この会報が皆様のお手元に届く頃には、久方ぶりの複数会員によるカンボジア訪問が始まることでしょう。(3月9日、4月12日訪問する皆様が事故なく無事帰国されますよう、お祈りください。)

5月3日〜4日、東京都内の代々木公園にて恒例の「カンボジアフェスティバル2023」が開催され、本会も参加いたします。カンボジア製品の販売やPR活動のためのボランティアさんを募集中ですので、よろしく願っています。

子どもたちの笑顔

写真提供: 遠藤啓様

好評につき「カンボジアの子どもたちの笑顔」を連載いたします。昨年5月〜6月に遠藤啓さんがカンボジアを訪問、子どもたちの写真をたくさん撮りました。



活動に参加しませんか

正会員として

- 教育里親会員(年額3万円)
子どもたちへ直接払う年額
1万2千6百円(42%)
会の運営に回す年額
1万7千4百円(58%)
- 個人会員(年額5千円)
- 団体会員(年額1万円)

寄付金

当会の活動に賛同いただける方からの寄付金も受付しております。

* * * * *

会費寄付金の送付は、銀行振込、郵便振替、現金書留で。

【口座名】

21世紀のカンボジアを支援する会

【ゆうちょ銀行】

019支店 当座 01600916

【りそな銀行】

練馬支店 普通 4098235

●ゆうちょ銀行の自動引き落としをご希望の方は事務局へご連絡ください。

●会員の皆様には、隔月発行する本会の会報「アンコールワット」を発行の都度郵送します。

春さんのカンボジアレポート

～カンボジアの2023年国家予算～

カンボジア国民議会(下院)は、1月29日に2023年度予算法案を承認しました。歳出は前年度比13.0%増の39兆2,062億リエル(約1兆3,020億円)、歳入は12.5%増の36兆6,767億リエル(約1兆2,180億円)となっています。

歳出の対GDP比は、29.9%(2022年度28.9%)となる見込み。歳出のうち、給与等の経常支出は10.0%増、インフラ等の資本支出も12.4%増とし、新型コロナの影響を受けた2020度〜2022年度の緊縮予算から平常化に向かっています。

2022年6月末の公的対外債務残高は、97億4,058万ドル(約1兆3,930)と2021年12月末の95億ドル272万ドルから2.5%の増加です。

国別では、中国が最大で40億4,357万ドル(全体の41.5%)、以下、アジア開発銀行19億7,203万ドル(20.2%)、日本9億7,163万ドル(10.0%)、世界銀行8億9,130万ドル(9.2%)、韓国4億7,197万ドル(4.8%)。

対外債務は、ほとんど償還期間が長い譲許的借款であり、債務支払い負担は、政府歳入の2%程度と非常に低いレベルにあり、健全な範囲にあります。中国による債務の罠に陥る危険はありません。

※日本の歳出⇒約110兆円。資料提供:カンボジア情報省

カンボジア2023年予算 歳出39兆2062億リエル (約96億4500万ドル:約1兆3020億円)

社会福祉	経済関係	防衛・治安	一般管理	その他
8兆9897億R	7兆461億R	5兆215億R	3兆794億R	13兆746億R
22.9%	19.0%	13.3%	9.7%	35%

理事・里親会員 鈴木春男(カンボジア・シェムリアップ在住)

カンボジアは日本に対する戦後賠償をなぜ放棄したのか？

今から20年ほど前になりますが、東京・赤坂にある「カンボジア大使館」を訪れた時、当時大使館に勤務しておられた山本哲朗さん(故人)が、年配の日本人を紹介してくれました。その人が只熊力(ただくまつとむ)さん(故人)でした。高齢になっていましたが、時々大使館に来られアドバイスをしておられたようです。

時は移り最近ある書籍を読みましたら、只熊さんのことが書いてありました。

只熊さんは、日本軍が仏印進駐した1941年頃に当時のインドシナに派遣され、1945年8月の終戦時はカンボジアにおりました。

その後大半の兵隊は日本に復員しましたが、記録では700人ほどの日本兵が残留し、義勇軍を組織してインドシナ3国の独立運動に身を投じたそうです。

只熊さんは終戦時25歳、陸軍中尉でした。カンボジアにいた只熊さんら日本人はカンボジアで義勇軍を作り、再び舞い戻ってきた旧宗主国フランス軍との戦いを指導しました。

その甲斐あって1953年、カンボジアはフランスから完全独立し、シハヌーク殿下が国王に即位しました。

そのシハヌーク国王を手助けしたのが只熊さんでした。

1955年、シハヌーク国王は国賓として来日し、戦後賠償を放棄すると公表しました。その理由が、カンボジア独立に貢献してくれた只熊さんら残留日本兵が組織した義勇軍の存在でした。

このような実話は、大半の日本人が知らないか、忘れてしまっているでしょう。(多分カンボジア人も)

中国の影に隠れ、日本の存在がやや薄れかけているカンボジアですが、カンボジアがフランスから独立できた背景に残留日本兵の存在があったことを、もう一度思い出してもらいたいものです。(根岸記)

きりとり

教育里親会員 入会申込書

年 月 日

氏名	ふりがな	生年月日	年 月 日
住所	〒 (TEL)		
備考	1. サポートして下さる子どもの人数 [] 人 2. サポートして下さる子どもの性別 ① 男の子 ② 女の子 ③ どちらでも 3. その他 [具体的に]		

*入会して下さる方は所定の事項をご記入のうえ、本会事務局までお送りください。